

レンジアップパッケージの最新動向と成長戦略

～進化する多機能包材で変わる日本市場の動向と欧米市場の評価～

S&T出版 R005

検索

発行・編集 S&T出版(株)

2019年9月13日	A4判 並製本 146頁	価格:本体 85,000円+税 (STbook会員:80,750円)
ISBN:978-4-907002-77-0 C3058		STbook会員とは当社ホームページの登録会員(ログイン機能)です。(無料)
本書籍はPDF版(CD-R)付です		

レンジアップパッケージ(電子レンジ加熱・調理食品用の包装・容器)は、その機能性の高さから、少なくともここ10年間は確実に成長を続けている。特に直近数年間ではその伸び率がより高くなってきている。代表的な伸長要因としては、①食品ロスの低減が図れる、②保存性などの利便性が高い、③簡易・時短調理ができることなどがあげられる。①②は食品資源保護の観点から評価され、③は「食品を包み保護する」という従来の目的だけでなく、新たに「調理器具」としての要素が加わったことが市場に受け入れられた。これらの要因により、レンジアップパッケージは今後もその対象となる食品アイテムが増加していくことが確実視されている。特に大手流通系を中心とした「PB食品」では、そのアイテム数が増加推移を続けている。

そこで本レポートでは、日本のレンジアップパッケージの対象となる食品動向と、素材別・機能別・形態別にパッケージ市場の現状と展望を定性的・定量的に明らかにし、さらに最終章に、レンジアップパッケージの採用が本格化していない欧米において、食品業界がレンジアップパッケージをどのようにとらえているかを述べ、現在の市場だけでなく海外における将来展望も伺える内容にした。

食品包装にかかわる様々な立場の方に、レンジアップパッケージ市場の指標となる情報として本書をお勧めします。

第1章 総論

1. レンジアップパッケージの市場動向と構成素材の需要動向

1.1 電子レンジ自動開封パウチ市場

1.2 透明レトルトパウチ市場

2. レンジアップパッケージに適用される機能性包装材料の動向

2.1 酸素、水蒸気、光バリアーパッケージの動向

2.1.1 酸素バリアーの例

2.1.2 防湿包装の例

2.1.3 光遮断包装の例

2.2 レトルト食品包装の動向

2.2.1 レトルト惣菜・煮豆類

2.3 冷凍食品包装の動向

2.3.1 冷凍野菜

2.3.2 冷凍水産物

2.3.3 調理冷凍食品

3. プライベートブランド(PB)食品の市場動向

3.1 主要流通系PB食品

3.1.1 セブン&アイ

3.1.2 イオン

第2章 レンジアップパッケージの機能別・素材別市場動向

1. 電子レンジ加熱対応パッケージの市場動向

1.1 電子レンジ自動開封パウチの市場動向

1.1.1 電子レンジ自動開封パウチの用途別市場規模推移

1.1.2 電子レンジ自動開封パウチの開封メカニズムと対応コンバーター

1.1.3 電子レンジ自動開封コンバーター別市場動向

2. 日本の透明レトルトパウチ市場(レンジアップ対応レトルトパウチ市場)

2.1 日本における透明レトルトパウチ市場規模

2.1.1 日本における透明レトルトパウチ用レトルトフィルム市場

2.1.2 透明レトルトパウチ向けレトルトフィルム・サブライヤーの販売量とシェア

2.1.3 日本における透明レトルトパウチ用レトルトフィルム市場展望

2.1.4 透明レトルトパウチ向けレトルトフィルム・サブライヤーの販売量とシェア予測

2.1.5 日本における透明レトルトパウチの需要量推移

2.1.6 日本における透明レトルトフィルム・サブライヤーのパウチ換算販売量とシェア

2.1.7 日本における透明レトルトパウチの需要量予測

2.1.8 日本におけるレトルトフィルム・サブライヤーの透明パウチ換算量とシェア予測

3. レンジアップパッケージ対応バリアー包装材料

3.1 CPP系バリアーフィルム

3.1.1 CPPアルミ蒸着フィルム

3.1.2 PET系バリアーフィルム

3.1.3 PET透明蒸着フィルム

3.1.4 ハイブリッドバリアーコートPETフィルム

3.1.5 PETアルミ蒸着フィルム

3.2 ナイロン系バリアーフィルム

3.2.1 PVDCコートONYフィルム

3.2.2 多層バリアーONYフィルム

3.2.3 ハイブリッドバリアーコートONYフィルム

3.2.4 ONY透明蒸着フィルム

3.2.5 ONYアルミ蒸着フィルム

4. 食品包装用シート市場

4.1 スチレン系シート

4.1.1 PSPシート

4.1.2 HIPSシート

4.1.3 OPSシート

4.1.4 耐熱PS発泡シート

4.2 PP系シート

4.2.1 透明PPシート

4.2.2 PPファイラーシート

4.2.3 耐熱PP発泡シート

4.2.4 EVOH系PP多層バリアーシート

4.3 PET系シート

4.3.1 A-PETシート

4.4 紙器

4.4.1 液体紙容器

4.4.2 飲料用紙カップ

第3章 レンジアップ関連食品の用途別市場動向と包装材料使用の実態

各品目ごとに、①業務用、②業務用別に下記項目を掲載

○出荷統計

○包装形態

○包装形態別出荷量

○パッケージ容量別出荷量

○主要なパッケージ形態

○パッケージ形態別個数構成比

1. 常温保存食品包装材料使用実態(業務用、家庭用)

1.1 レトルトカレー

1.2 レトルトバスタソース

1.3 レトルト食肉調理品

1.4 レトルト食肉野菜混合煮

2. チルド保存食品包装材料使用実態(業務用、家庭用)

2.1 生うどん

3. 冷凍保存食品包装材料使用実態(業務用、家庭用)

3.1 ハンバーグ

3.2 中華惣菜

3.3 グラタン

3.4 パ스타

3.5 ミートボール

3.6 水産フライ

第4章 欧米における食品業界の動向とレンジアップパッケージの可能性

1. Allpax

2. AMPAC

3. Bemis

4. Bumble Bee

5. Cambell

6. Conagra

7. Heinz

書籍申込用紙

R005 (レンジアップパッケージの最新動向と成長戦略)

購入冊数

冊

会社名 団体名				※左記で記入の上、 FAX 03-3261-0238 までお申込みください。
部署・役職				※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。
ふりがな	住所	〒		■お申込み方法 必要事項をご記入の上、FAXでお申込み下さい。または当社ホームページからお申し込みください。
氏名				■商品の発送 お申込み日の翌4営業日以内に書籍、請求書、納品書を佐川急便で発送いたします。 ※未刊書籍は発刊次第お送りいたします。
TEL		FAX		■お支払 銀行振込・ゆうちょ銀行振込(郵便振替)にてお願いいたします。クレジットカード払いは受け付けておりません。書籍・請求書到着後、1か月以内にお振込みください。銀行振込・ゆうちょ銀行振込(郵便振替)の手数料は、ご負担ください。原則として領収書は発行いたしません。ゆうちょ銀行振込取扱票(郵便振替票)は、書籍に同封しております。
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。			振込予定日
STbook会員(無料)に <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録済		※E-mailアドレスが必須です。※左に✓印をつけてご入会いただくと、この申込からSTbook会員価格で購入できます。		月 日
今後、弊社からのご案内が不要な方は以下に✓印をつけてください。 <input type="checkbox"/> 郵送DM不要 <input type="checkbox"/> E-mail不要		通信欄		
S&T 出版 株式会社 TEL 03-3261-0230 FAX 03-3261-0238 http://www.stbook.co.jp/ 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-8 DSビル3F				